

Memo

現地視察用資料



五反田ふれあい水辺広場



天王洲運河



立会道路の桜



戸越公園



なぎさの森

●移動ルート



●工程

時間		ルート	備考
時刻	所要時間		
13:30	—	品川区役所発	
↓	40分	①宅地分譲(西品川一丁目地区) ②木造密集地域(同潤会地区)	【みどり分野】 <視察ポイント> 宅地分譲(西品川一丁目地区)は、車内から見学、木造密集地域(同潤会地区)は車から降りて見学
14:10	15分	③五反田船着場 着	
14:25		③五反田船着場 発	
↓	80分	④目黒川エリア	【水辺分野】 <視察ポイント> 区有船着場、水辺空間の整備状況、ライトアップの状況、しながわ花街道、なぎさの森 etc.
		⑤天王洲運河エリア	
		⑥京浜運河	
		⑦勝島運河エリア	
		⑧なぎさの森	
		しながわ水族館船着場	
15:45		⑨しながわ水族館	
16:15	30分	品川区役所着	解散

●本日のみどころ

場所	概要	
① 宅地分譲地(西品川一丁目地区)		生け垣・庭付きの一般住宅が売却され宅地分譲により、敷地が細分化されて地域全体のみどりの減少につながっている。
② 木造密集地域(同潤会地区)		木造密集地域は、道路や公園等の都市基盤が不十分なことに加え、老朽化した木造建築物が多いことなどから、地域危険度が高い地域である。また、居住者の高齢化による建替え意欲の低下、敷地が狭小等により建替えが困難等から改善が進みにくい地域も多い。しかし、同潤会地区は再開発により建物が建替えられ、敷地内に新たなみどりが創出されている。
③ 五反田船着場		令和元年、目黒川の五反田地区に、舟運の拠点となる船着場(五反田リバーステーション)がオープン。平常時は観光船などが発着できる舟運の拠点としてにぎわいを創出し、災害時には防災棧橋として活用することを目的に目黒川沿いの五反田船着場と大崎橋広場を整備している。
④ 目黒川エリア		目黒川は、両岸が見渡せるほどの川幅で、多少の曲線があるため、程良い閉塞感が特徴となっている。目黒川沿いには上流から桜並木が続いており、区内でも人気のスポットである。また、五反田駅や大崎駅が位置しており、業務・商業施設が多く立地するエリアとなっている。
⑤ 天王洲エリア		幅が広く直線的で開放感がある天王洲運河と、船溜まりがある品川浦が位置するエリア。水辺の多くはボードウォークや遊歩道が整備され、水辺を活かした水上レストランが位置しているなど、にぎわいを感じるエリアとなっている。
⑥ 京浜運河エリア		京浜運河は、直線的で開放感があるという特徴を持っており、運河西側にはモノレール、首都高羽田1号線が通っており、南側には大井競馬場が位置している。東側には京浜運河緑道公園やなぎさの森(大井ふ頭中央海浜公園)が位置し、親水性の高い空間を形成している。
⑦ 勝島運河エリア		入り江となっている勝島運河とその先にある立会川が位置するエリア。勝島運河沿いはいしながわ花街道として春の菜の花や秋のコスモスを楽しむことができる。立会川はコンクリート護岸の河川で、建物が隣接している箇所もあり、無機質な印象となっている。
⑧ なぎさの森		なぎさの森は、スポーツの森の向かいに位置し、京浜運河に沿って水辺に親しめる公園で、釣りをすることができる。また、森と干潟があるため、多くの野鳥がやってきます。野鳥観察小屋や観察壁もありますので野鳥観察に適した場所となっている。
⑨ しながわ水族館		しながわ水族館は、品川が古くから海や川にゆかりがあることから、1991年に水辺とのふれあいをテーマにオープンしました。魚や海獣を身近に接し、観察し、学べる「遊体験」を楽しめる空間となっている。

ヒカリの水辺プロジェクト 実施状況

令和2年9月25日(金)

目黒川



①ふれあいK字橋 (R2.3点灯)



④小関橋



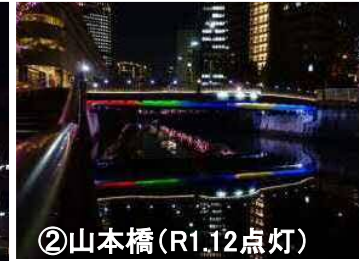
⑥三嶽橋



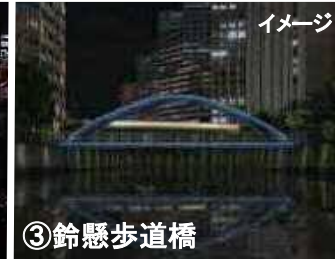
⑦栗津橋



⑧荏川橋 (H31.4点灯)



②山本橋 (R1.12点灯)



③鈴懸歩道橋



⑤森永橋 (R1.12点灯)



⑨品川橋 (H31.4点灯)



⑩新品川橋 (H31.4点灯)

イメージ



イメージ

天王洲

⑪アイル橋

京浜運河



⑫かもめ橋 (R2.6点灯)

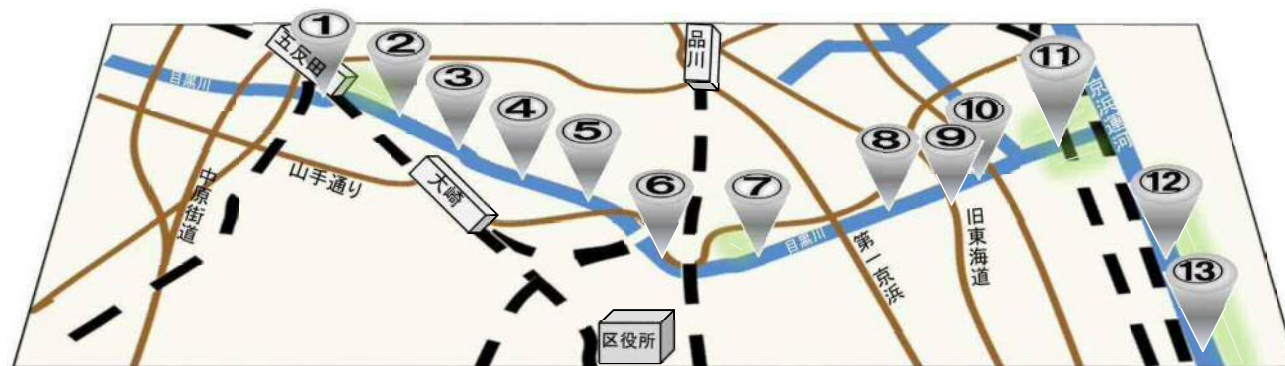


かもめ橋 歩道上



⑬勝島橋 (R2.6点灯)

案内図



船着場の整備(予定)

案内図



東海橋船着場

令和2年度 スロープ整備

令和3年度 船着場整備

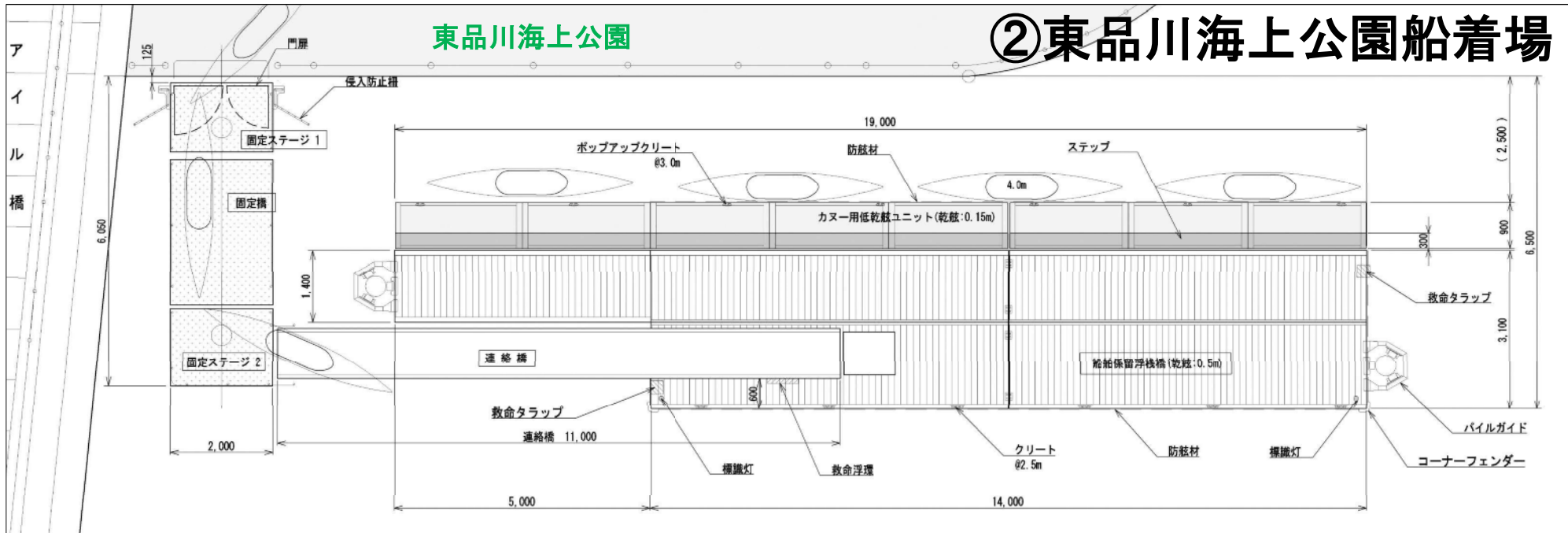
東品川海上公園船着場

令和2年度 船着場整備



イメージ

①東海橋船着場



②東品川海上公園船着場

非動力船の利用にあたって準備するもの

※下記の内容は必ず準備してください。

区分	装備品名	注意事項
共通	ライフジャケット (救命胴衣)	 体格にあったものを選び、ベルトやファスナーを確実に締めて、適切に着用する。
	パドルフロート	 パドルのブレード部に装着する浮袋で、沈脱(転覆して脱出)した際のセルフレスキュー(自己救援)のために装備する。
	救命用浮き輪	 沈脱(転覆して脱出)した際の救助のために装備する。
	スローロープ (レスキューロープ)	 沈脱(転覆して脱出)した際の救助のために装備する。
	通信装備 (防水パック入り携帯電話やホイッスルなど)	 緊急時の連絡体制を確保するために装備する。
カヤック等 (SUP以外)	排水具 (ビルジポンプやビルジスポンジなど)	 カヤック等のコックピット内に侵入した水や砂等を排出するために装備する。
シーカヤック 限定	スプレーカバー	 カヤックのコックピット内に水が侵入するのを防ぐため、装着する。
【SUP限定】	リーシュコード	 ボードと足を繋ぎ、ボードの流出を防ぐために使用する。

「ルールを守って水辺を楽しもう」

問い合わせ先

品川区 防災まちづくり部河川下水道課水辺の係
TEL/ 03-5742-6794 FAX/ 03-5742-6887
メール/ kasengesui-mizube@city.shinagawa.tokyo.jp

品川区の船着場における 非動力船の利用ルール

※非動力船とは、機関を用いず推進する手漕ぎボート、カヌー、Eボート、SUP (Stand Up Paddleboard) 等の船舶のことをいいます。本利用ルールは、品川区の船着場を利用するにあたり、動力船と非動力船が共に安全に航行できるよう、非動力船を運航する際の利用ルールをまとめたものです。

原則として、全ての非動力船に対して同じルールを定めていますが、SUPは、他の非動力船よりも波等の影響による転覆等の可能性が高いため、【SUP限定】と表記した追加ルールを定めています。

品川区

令和元年12月

航行にあたってのルール

非動力船の利用時間



船着場名	利用時間	関連要項
五反田船着場	午前6時～午前9時まで	目黒川船着場管理運営要綱
五反田ふれあい水辺広場船着場	午前6時～日没まで 【SUP限定】午前6時～午前9時まで	
東海橋船着場	午前6時～日没まで 【SUP限定】午前6時～午前9時まで	

※利用時間については、区長が認める場合はこの限りではありません。

SUP利用可能エリア 【SUP限定】



1 天候や気象状況の把握

- 潮の満ち引き、波、風等の気象情報を把握し、安全な航行ができるように配慮すること。
- 天候（濃霧など）や時間帯により視界が悪い時（視界おおむね100m以下の場合）は出航しないこと。
- 風速7m/秒以上、波高1.5m以上の場合は、出航しないこと。
- 弱い雨以上の時は出航しないこと。



2 他の船舶への配慮

- 他の船舶の航行の妨げにならないよう航路や時間帯等を配慮すること。
- 【SUP限定】目立つ色のビブス等を着用すること。
- 【SUP限定】天王洲南運河(目黒川水門から南側、東品川橋から西側)では、ボードの上で立って航行しないこと。



3 安全管理

- 酒気帯び・酒酔い操縦はしないこと。
- 必ず複数人で航行すること。
- 安全管理の責任者を配置し、航行の安全管理を行うこと。
- 保険に加入すること。
- 【SUP限定】ボードの規定された定員を守って使用すること。



4 その他

- 事故が発生した場合は、自己責任となります。
- 事故等は当事者間で解決してください。
- 事故等が発生した場合は、船着場管理者（品川区）にご報告願います。

現地視察会 アンケート

本日は現地視察会にご参加いただき、ありがとうございました。

実際に現場を視察されてのご感想や今後検討会で議論すべき内容、「品川区水とみどりの基本計画・行動計画」に反映していくべき内容等についてご意見等ございましたらご自由にお書きください。

お名前